

科目名 動物資源生産学特論実験(一) (2単位)

担当者氏名 横濱道成、増子孝義、相馬幸作、白木彩子

◆学習・教育目標

動物資源の増殖、生産、管理、保全に関する実験、演習を行う。具体的には動物細胞の培養、DNA解析、酵素の抽出、動物飼育・管理、鳥類の調査、遺伝子実験の基礎知識、各分野関連論文の読解と解説、演習を行う。
(オムニバス方式/30回)

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

家畜の保定

試料採取法

痕跡学

生化学的処理法

◆授業の進行等について(単位制度に基づく授業の進行予定・内容)

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-8回	動物の保定、血液採取と分析(横濱道成 8回)	大型動物の保定法、血液・毛根の採取・保存処理法、生化学的解析法	大型家畜からの採材法を中心に学ぶ。
9-16回	飼料の成分(相馬幸作 8回)	牧草の同定法、飼料の一般成分分析と給与メニューの設計法	配布資料をよく読んでおくこと
17-20回	鳥類生態調査法(白木彩子 4回)	学内ファイントレールやトウフツ湖において鳥類の多様性、採餌行動、社会行動、生息環境等に関する生態調査法について実習を行う。	配布資料をよく読んでおくこと
21-24回	生態データ解析法(白木彩子 4回)	現地調査によって得られたデータの整理、解析方法について演習を行う。	現地調査で得たデータを持参すること
25-30回	家畜飼料の生産現場の解説と見学(増子孝義 6回)	自給飼料生産や未利用飼料資源の活用事例の解説と現地見学	牧草や飼料作物、デンプン粕などの未利用飼料資源の活用と現状を学ぶ。

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)
書名/著者/発行所(発行年)

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等
書名/著者/発行所(発行年)

◆評価の方法(レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト)

◆その他受講上の注意事項